

事業計画書

事業名	オーシャンビューカフェテラス
実施場所	沼津市西浦木負 364
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

海釣り人気スポットの木負堤防の向かいの立地にてカフェスタンドを運営。「気軽に立ち寄れる」がコンセプトで、テラス席・テイクアウトをメインとして回転効率を上げ、多くの釣り人の憩いの場の提供。オーシャンビューであることからリゾート気分を味わえるカフェとして、釣り人だけでなく、カフェを目的とした集客もしていき、綺麗な海を知ってもらう。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、密とならない釣りがピックアップされ、木負堤防では多くの釣り人で賑わっている。西浦地区は人口減少が懸念されるが、釣り人や観光客で人の行き来があるため、今後も人の流動を止めない様に継続して魅力を発信し続けなければならない。現状、西浦地区には飲食店が少ないため、気軽に立ち寄れる飲食店を提供することにより、西浦地区に遊びに来た方々の満足度向上を目指す。

地域の取り組みとしては木負地区では、コロナウイルス流行前は、年に数回地域の交流場として集まり、祭りの企画や話す機会があったが現在は無くなってしまっている。コロナウイルスの感染防止対策を取りながら、無くなってしまった交流の場を作りカフェを開放する。効率的に地域課題の解決を図るため、地域会議をしていく。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。
2022/2月下旬	対象物件、施工計画・設計
2022/3月中旬	工事請負契約
2022/4月上旬	工事開始
2022/8月上旬	工事完了
2022/9月上旬	飲食店営業許可申請
2022/10月1日	事業開始

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

定住者ではないが、人の行き来のある西浦地区で新たに飲食店を運営することにより、満足度の向上と、カフェから綺麗な海を見ることで魅力度を上げる。またテラス席を設けて、喫煙所・休憩所を提供することにより、構えずに利用できるカフェスタンドとなり、多くの釣り人・地域の人、観光客の交流の場となる。尚、木負堤防徒歩圏内の飲食施設は自動販売機しかない。その為来客数は、平日×5組/土日×15組 週55組を目標とする。

地域の方々に多く利用していただき、地元ならではの団結力のある地域を作っていく。そこで作られる団結力から地域の課題を解決していく。地域の方と話した課題は下記の通りである。

- ① 地震などの災害時の対応
- ② 若い人が戻ってくるような地区

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。
	月間来客数 250組 リピータ客の数(メンバー会員) 地域会議の実施		実際の月間来客数とメンバーズカードの発行数 地域の方へのアンケート

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>西浦地区には立ち寄れる場所が少なく、現状は目立った店舗がないため、観光客は物足りなさを感じる可能性がある。木負堤防目の前の立地と、らららサンビーチ、大瀬崎などの観光地の通り道に構えることから、西浦地区のランドマークとして目立たせて、観光客の満足度向上と、魅力度が上がることが公益性につながる。他にも近所の方も招いて西浦地区の憩いの場にも発展していく。</p> <p>カフェスペースの開放が事前に聞いた区民の持つ地域の課題を解決していくことへと繋がる。地域会議の場を設ける事ができるのは、カフェ空間の環境であり、既存の集会ではなく集まることができる場を新規で作っていく。現在その様な場がなくなってしまった事で改めて集まりづらくなっているが、これを機に活動をして、地域の課題について話し合うことができる。</p>
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>沼津土肥線17号は海に面した景色の良い通りで釣りスポット・サイクリングが有名である。そんな海が綺麗な町をカフェを通して景色を愉しんでもらう。カフェテラスとしては、カフェ利用者は勿論のこと、観光客にも気軽に利用できるようなテラスとして無料開放して、ペットと安らぐことができるスペースや、景色を一望できる席を用意して、くつろげるオープンスペースを提供する。メニューには、西浦特産品のみかんを使用することや、過去の採択された事業の商品(ひじき・コーヒー豆等)を取り入れていく。</p> <p>交流の場がなくなっている現状を、カフェを開放することにより、地域の課題点の話し合いの場を設けて、解決していく。コミュニティは大きいわけではないので、地域会議で話し合ったことは人の繋がりが濃い地域では浸透しやすいと考える。</p>

<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>従来のカフェは室内をメインとしているが、当カフェはオープンテラスをメインとする。テラス席を多く設けて外の空間・景色を愉しむことと、無料開放することにより、地域住民や観光客とのふれ合いの場を設ける。エクステリアデザイン事務所も併設することから、オープンテラスを独自性のあるものにしていき、自然に溢れた環境を作り、足を運びたくなる外観を創っていく。</p> <p>課題解決の近道として、私は大学では防災を学んでため、避難先のルートや災害時での対応を少しでも地域の方へフィードバックをできる。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>今後、観光客の増加が見込めれば西浦の地にカフェの出店希望者も増えていく。海の景色、伊豆縦貫道からのアクセスを考えると非常に良い地域であることから、七里ヶ浜のようなオシャレなカフェが並ぶ街並みにも変えていけると考える。継続性では、もう一つの事業としてエクステリアデザイン事務所を設立するので、カフェ⇄エクステリアの流れも作り、双方から集客、収入の見込みを図る。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>カフェのオープンと同時に、エクステリアのデザイン事務所として独立予定。さらに2.3階は住居とするので、カフェに対する初期投資は分散できる。また元々ペンションということもあり、飲食店の設備は整っている状況で、現況から考えてもカフェを営むのに難しくない環境と言える。</p> <p>事前に区長や住民の方に話を伺っており、元々団結力のある地域であると聞いているため、地域のコミュニティを新たに作っても利用して貰えると考ええる。</p>
<p>活動に対する 熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>私は海が好きで西浦の地を選びました。山、海が目飛び込むこの土地が好きです。様々な地域に足を運びましたが、西浦の温かい雰囲気、穏やかな時の流れ、綺麗な景色は他になかったです。そんな魅力を知ってもらえたら嬉しいです。その為に海が見えるカフェを創って、席に座ってもらい、西浦の空気に触れる機会をより多く作れたら良いと思います。くつろげる空間＝カフェはこの場所でなければ作れません。是非よろしくお願い致します。</p> <p>地元民でない私が新たに入っていても問題ないように、何度も西浦木負地区に足を運び、住民と話をしました。温かい町を微力ながらも、サポートできたら幸いです。</p>